

≡11・3兵庫憲法集会≡ メリケンパークに1500人

総選挙で改憲勢力が、3分の2の議席を占め、改憲発議を公言する状況下で、11・3兵庫憲法集会が11月3日、神戸市中央区のメリケンパークで開催され、約1500人が集うとともに、ユーチューブなども駆使して全国をつなぐハイブリッド方式で、成功させました。

主催は「戦争させない、9条壊すな！総がかり行動兵庫県実行委員会」。各地の九条の会や憲法共同センターなど諸団体も、この成功を目



指して奮闘しました。

総合司会は、ラジオパーソナリティの小山乃里子さん。

自治労県本部代表による主催者挨拶に続いて、兵庫県原爆被害者団体協議会から、政府に核兵器禁止条約署名・批准を求める運動強化の呼びかけ、石田真美弁護士による入管法とミャンマー問題の報告などがありました。

メーンゲストの上西充子法政大学教授は、国会答弁をはぐらかす政府・与党を批判する「ごはん論法」の”名付け親”として知られ、街頭でテレビ中継を映し出す「国会ビューイング」でも高評価を得ています。上西教授は、憲法12条に規定する「国民の不断の努力」を続けるためにも、「立ち止まって聞き、自分で考えてもらうための工夫」を紹介。無関心層とされてきた人達に関心を持ってもらい、さらには「憲法を守り、生かした社会にするためにも、地に足のついた思考と行動の力を強くしていく」ことを呼びかけました。（東灘区 田所明治）

「10.21 国際反戦デー」芦屋集会開催！

毎年芦屋では、国際反戦デーに集会とアピールウオークを実施していたが、昨年はコロナ禍のため中止。今年は市民センターにて、芦屋地方労働組合協議会・市民がつくる芦屋会議・芦屋「九条の会」・あたたかく民主的な市政をめざす芦屋市民の会（略称：あたたかい会）・憲法あしやの会の5団体共催で屋内集会のみ行った。主催者を代表して芦屋地労協議長の挨拶、旭事務局長経過報告に続き、芦屋「九条の会」片岡事務局長から、「新安保法制の下、アメリカとの軍事一体化が顕著になっている。反戦・平和の活動を一層強化させていかねばならない」、続いてあたたかい会の副島罔義さんからは「芦屋保健所の統合計画には反対。芦屋市だけ管轄の保健所だからこそコロナなど感染症などへの対応が可能になる。存続・拡充を求める」と問題提起があった。

最後に「コロナ禍の今こそ、未来を担う子供たちのため、私たち自身のために平和な世界を築く決意を新たに」との集会アピールを採択して終了した。

（片岡 隆）



「九条の会」が声明「改憲拒もう」

「九条の会」は12日、「総選挙後の改憲問題の新たな局面を迎えて」とする声明を発表しました。「総選挙の結果、自民党、公明党、日本維新の会などの改憲勢力が衆議院の3分の2を越す議席を得た新たな局面のもと、岸田政権は、安倍政権以来の改憲策動の強化に踏み切る構え」「9条破壊の加速化と同時に、憲法9条明文の改憲にも踏み込むべく、臨時国会における憲法審査会での改憲案討議入りを狙っている」と指摘。

「九条の会をはじめとした市民の草の根の運動、市民と野党の共闘が改憲の企てを阻み続けてきた」と強調。「来年の参院選に向けた新たな改憲の動きに待ったをかけるのも、この市民と野党の共闘の力以外にはない」として、「改憲と9条破壊の阻止に決意を新たに立ち上がることを」呼びかけています。

芦屋「九条の会」講演会

アフガンで何が起きているのか？ ～世界の中の「憲法9条」～

講師：西谷文和さん(フリージャーナリスト)

12月5日(日) 14:00～16:30

芦屋市民センター 401室

参加協力費 500円(大学生以下・障がい者無料)